

別会計

- (5) 昭和43年度福生町公益質屋特別会計
- (6) 昭和43年度福生町用品調達基金
- (7) 昭和43年度福生町公益質屋基金
- (8) 昭和43年度福生町上水道事業会計
- (9) 昭和42年度福生町上水道事業会計決算書

5. 結 果

関係帳簿及び、証書類を審査の結果各会計とも良好であると認める。

6. 参 考

昭和43年度6月分歳入歳出現計表

(単位 円)

	5月末有高	歳 入	歳 出	6月末有高
一 般 会 計	19,353,916	97,481,542	66,256,632	50,578,826
国 保 会 計	5,291,005	18,518,657	7,770,345	16,039,317
と 畜 場 会 計	368,012	6,359,007	2,403,031	4,323,988
区画整理会計	4,179,728	7,477,460	5,855,445	5,801,743
公益質屋会計	82,407	466,006	184,350	364,063
用品調達基金	105,945	169,710	38,300	237,355
公益質屋基金	119,900	1,462,400	1,129,300	453,000
小 計	29,500,913	131,934,782	83,637,406 ³	77,798,292
水道事業会計	22,211,292	7,794,102	10,552,988	19,452,406
合 計	51,712,205	139,728,884	94,190,391	97,250,698

福議発第五二号

昭和四十二年九月十八日

福生町議会議長

田村匡雄印

東京柳屋
美濃町高松殿

会議録の送付について

昭和四十二年第六回福生町議会臨時会の会議録の写を別紙のとおり作製いたしましたので、地方自治法第一二三条第三項の規定により送付いたします。

福議発第一五三号

昭和四三年九月十六日

福生町長

石川常太郎殿

福生町議会議長

田村匡雄印

会議録の送付について

昭和四三年第

六

回福生町議会

臨時

会の会議録の写を別紙のとおり作製いたし

ましたので、地方自治法第一二三条第三項の規定により送付いたします。



昭和四十二年
第六回臨時會

(自八月十九日
至一月一日)

穆生町議會議錄

第十
號

議五十七

陳二

議五十八

議六十一

議六十二

議

第六回臨時

第七回臨時

議五十六

二



第六回福生町議會臨時會會議錄 (第十号)

昭和四年八月十九日福生町議會議場に第六回福生町議會臨時會が召集された。

出席議員は次のとおりである。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 一番 伊東清司君 | 二番 坂野鉄之助君 | 三番 |
| 四番 内末吉君 | 五番 松本平九郎君 | 六番 石川信義君 |
| 七番 川林昭吉君 | 八番 伊里正一君 | 九番 下野仁夫君 |
| 十番 川杉重雄君 | 十一番 木村田香雄君 | 十二番 高橋子春君 |
| 十三番 伊西廣蔵君 | 十四番 加藤清一君 | 十五番 石川繁治君 |
| 十六番 水谷清一君 | 十七番 高根忠君 | 十八番 仲沢弘之君 |
| 十九番 杉本春雄君 | 二十番 中村国太郎君 | 二十一番 木沢性男君 |
| 二十二番 下坂秀佐君 | 二十三番 岩田博君 | 二十四番 田村匡雄君 |
- 欠席議員は次のとおりである。
- 三番 川村仁七君

何レ

—

議事會
局長

... ..

町長

教育長

調查室

課住
長民

土木課
都市課
國課長

選舉委員會局長

教育課長補佐

—

日程第一

日程第一

日程第三

日程第四

日程第五

大員の方よりある。

一 聯合事務局職員は次のとおりである。

局長 島田 徳 局長 青山 次男 主事 市川 昭利

一 地方自治法第二百一十一條の規定による出納職員は次のとおりである。

町 長 石川 常太郎 助役 収入役 藤井 俊夫

日野 繁正 期許 第二号 国立 藤井 繁四 小学校 町内 藤井 繁四 町内 藤井 繁四

日野 繁四 期許 第五十号 奨励 藤井 繁四 (奨育 関係)

主日 藤井 繁三 期許 第六十六号 町主 田岡 安資 並 町内 審査 委員会 委員 藤井 同 意 第二号

住日 藤井 繁二 期許 第六十六号 町主 田岡 安資 並 町内 審査 委員会 委員 藤井 同 意 第二号

日野 繁一 期許 第六十六号 町主 田岡 安資 並 町内 審査 委員会 委員 藤井 同 意 第二号

町内 審査 委員会 委員 藤井 同 意 第二号

町内 審査 委員会 委員 藤井 同 意 第二号

町内 審査 委員会 委員 藤井 同 意 第二号

町内 審査 委員会 委員 藤井 同 意 第二号

町内 審査 委員会 委員 藤井 同 意 第二号

町内 審査 委員会 委員 藤井 同 意 第二号

町内 審査 委員会 委員 藤井 同 意 第二号

町内 審査 委員会 委員 藤井 同 意 第二号

町内 審査 委員会 委員 藤井 同 意 第二号

町内 審査 委員会 委員 藤井 同 意 第二号

町内 審査 委員会 委員 藤井 同 意 第二号

町内 審査 委員会 委員 藤井 同 意 第二号

町内 審査 委員会 委員 藤井 同 意 第二号

町内 審査 委員会 委員 藤井 同 意 第二号

町内 審査 委員会 委員 藤井 同 意 第二号

町内 審査 委員会 委員 藤井 同 意 第二号

町内 審査 委員会 委員 藤井 同 意 第二号

町内 審査 委員会 委員 藤井 同 意 第二号

町内 審査 委員会 委員 藤井 同 意 第二号

町内 審査 委員会 委員 藤井 同 意 第二号

町内 審査 委員会 委員 藤井 同 意 第二号

町内 審査 委員会 委員 藤井 同 意 第二号

とて議決いたしたる事なり。お願ひいたしたる事なり。
所お説明員とて全員出席させていたしたる事なり。
お願ひいたしたる事なり。商庫よりお願ひいたしたる事なり。
いたしたる事なり。

議長(田村匡雄君) 日程第一 公議録署名議員の指名
を行ないます。署名議員の指名は公議規則が
百九条の規定により議長におき指名いたします。

- 二十番 中村国太郎議員
- 二十一番 木次庄男議員
- 二十二番 大沼秀伍議員

以上三名の方にお願いいたします。

議長(田村匡雄君) 二の 際報告事項がありす。そ
軍務局長とて報告いたさせます。

- (島田謙公軍務局長報告)
- 一、船田三軍福主の謙公が回船時公の招集にて(別添参照)
- 二、謙公説明員の出席要求にて(別添参照)

一、 本日の提出議案につて(議事日程参照)
つぎに三多摩上下水及び道路建設促進協議会に
つて申しあげます。

まず第一 委員会関係につて申しあげます。二の
所管は水道関係でござります。八月二十七日に於
九時三十分より武蔵野公会堂におき開催され、
かりに高橋議員と青山係長が出席した。その
内容は前回より二十七日に於て至ります。第一
会の経過と、つぎに三多摩分水事業の現状と暫定
分水料金につて、初水道局の原水道部長から説明
があり質疑応答がなされました。次ぎ協議に入
ります。委員会は今後の運営につて、委員会への提
案事項、委員会報告につて協議いたした。第一
点の委員会は今後の運営につては三多摩と区役と
の水道格差をなくし、一本化の努力を願うこと。今
後推進しようとする。市は下水道局との分水

長生堂印

ぐふい子下。 ほか委員会の報告につき子とば
 常に委員会が検討せられたとイウニとせ了るまいとい
 とイウニとせられたものでござい子下。 つきにオ三
 委員公道関係につき申しあげ子下。 昭和四十三
 年八月二十七日子ネ九時四十分から都議公会オ一委員
 会室におき開催されはからば 石川繁治議員と市川
 主事が出席したに子下。 一れもは九月五日
 に提出する関係のものを中心として諮問したに子下、
 今までの経過報告のあと都に提出したに子下要
 望書に好する都当局的説明ならんに二れに好する
 質疑応答がなされ子下。 その要望書につき子
 とば前回に二説明とあり子下を省略したに子下。
 つきに定期総会に提出する今後の運動方針につ
 りて諮問したに子下、 今後の運動方針につ
 とば多摩川水利用、 三多摩総合道路計
 画と整備拡充、 区部との格差是正等につき今後

福生町議会

の運動方針にしようというニトが決り手した。
 又おそ女員会への報告にしようは委員長一任というニトで
 了承さしたものでございす。

以上が三多摩上下水および道路建設促進協議会関係でございまして。

最後、三市六ヶ市協議会関係につき申し立て
 手続。去る七月五日に姫島市で開催された

三市六ヶ基地協議会の会合で決まりました決議
文と要望事項が二つあります。一昨（せ）八月二十七日に

沼島市の会長さんと三市の市議会議員さん、田中議員の三名が三市六市の代表として決意文。

要望軍員を以て衆参議長、防衛庁、IV、V、
電々公社、地元選出議員等に書類を提出した

すーに。その内容の要点をゆしあげて、テレビ受信料の免除につく。電話料金の減額につく。

航空標の騒音制限再検討につき、航空標の事